

北ガスグループ 2018年度 事業計画

北海道ガス株式会社
2018年4月27日

2018年度の主な取り組み

～ 「総合エネルギーサービス事業」展開に向けた強靱な基盤整備

北ガス石狩発電所



1. ガス事業基盤の強化

- ガスマイホーム発電の普及拡大
～分散型エネルギー社会創造へ
- 導管延伸によるガス導管整備
- 業務用巡回営業による燃転

導管延伸



2. 電力事業の推進

- 14万件達成に向けた営業活動
- 環境性に優れた
電源の調達・整備

北ガス版HEMS
「EMINEL」



3. 北ガス版エネルギー管理サービスの展開

- 北ガス版HEMS「EMINEL」の
サービス開始
- 分散型エネルギー社会の構築

4. 人材基盤の強化

5. 地域貢献

～ エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造 ～

1. ガス事業基盤の強化

(1) ガスマイホーム発電普及拡大

- ・新型エネファーム(4月発売)
→ 停電時対応機能の標準装備
- ・北ガス版HEMS「EMINEL」との相乗効果の訴求



(2) 導管延伸による普及率拡大と燃料転換営業の推進

- ・20km・対象戸数1,300戸で展開
- ・函館地区へ展開

2030年度までに
100億円超を投資し、
約330kmを整備



(3) 既築業務用の営業力強化

- ・営業体制の再編成
- ・小規模業務用需要への提案
→ 木造1・2F建物への営業拡大



(4) LNGサテライト供給の拡大

- ・エンジニアリング力による付加価値提案



2. 電力事業の推進

(1) 需要の獲得

- ・業務接点での営業強化
北ガスフレアストでのトップランナーノウハウの水平展開
- ・全道キャラバンの継続実施
4月28、29日の帯広よりスタート
(2018年度は、帯広・名寄・函館・旭川・釧路で予定)
- ・アライアンスの強化
道内都市ガス事業者を中心とした連携強化



(2) 電源の調達・整備

自社電源の整備拡充による

- ・供給安定性の向上
- ・環境負荷の低減
- ・競争力の向上 を図る



北ガス石狩発電所



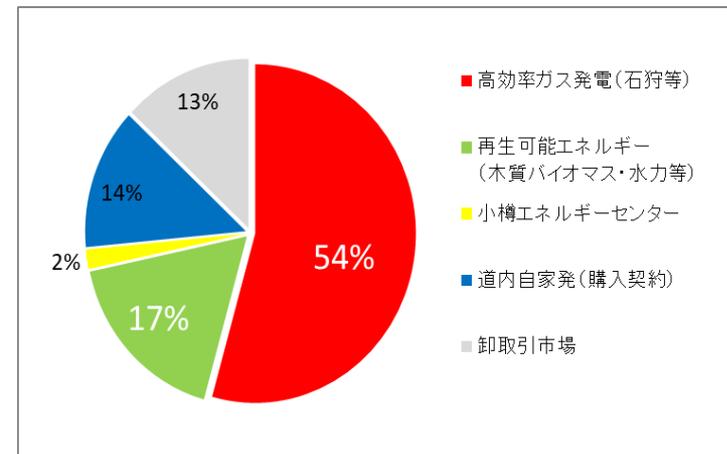
・「石狩発電所」の建設

(7,800kW × 10台: 2018年10月稼働予定)

・北7東2(札幌)に電源コージェネの整備

(7,800kW × 2台: 2019年稼働予定)

◆電源構成(北7東2稼働後の2019年度計画)



3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

(1) 北ガス版HEMS「EMINEL」のサービス開始

「EMINEL」: *Energy Management for Interactive Eco Life*

- ・当社が目指す「エネルギーと環境の最適化による快適な社会」を実現するエネルギーマネジメントの形
- ・当社独自のエネルギーサービスを、北海道全域に広く普及拡大することで、地域のエネルギー利用の効率化を図り、地域が抱える課題の解決や、深刻化する地球環境問題に貢献

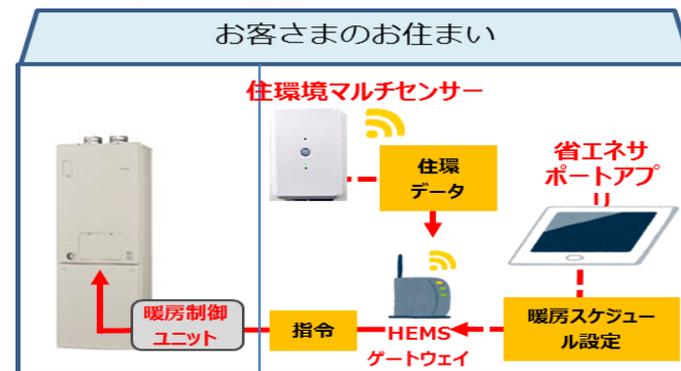
2018年5月 EMINELプラン発表 (エネルギーサービス料金)

- ・総合エネルギー(ガス・電気)料金、省エネサービス、見守りなどの安心・快適な生活サービスなどが一体となった新しいかたちの「エネルギーサービス料金」
- ・CO₂削減分の買取サービスもスタート

10月 EMINELサービス開始 (2018年度目標: 200件)

北海道全域でのサービスを展開
(2023年度計画 : EMINEL契約1万件)

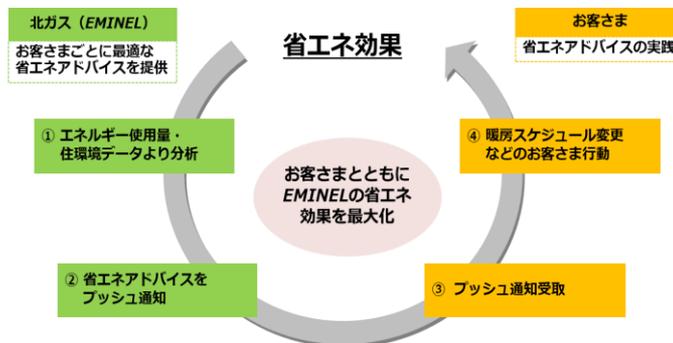
■EMINELサービス概要



<主な機能>

- ・ガス(給湯・暖房)のデータの見える化
- ・暖房の省エネ自動運転や省エネアドバイス
- ・マルチセンサーを活用した警備会社による駆け付けサービス など

▼お客さまとともに進める省エネ (行動科学による効果的な省エネアドバイス)



3. 北ガス版エネルギーマネジメントサービスの展開

(2)お客さまとの協業による省エネの実現に向けた取り組み

・うちエコ診断士による、個別省エネ提案の実施

うちエコ診断士: 150名 2016年度末から+50名

(2017年度診断件数 約800件)

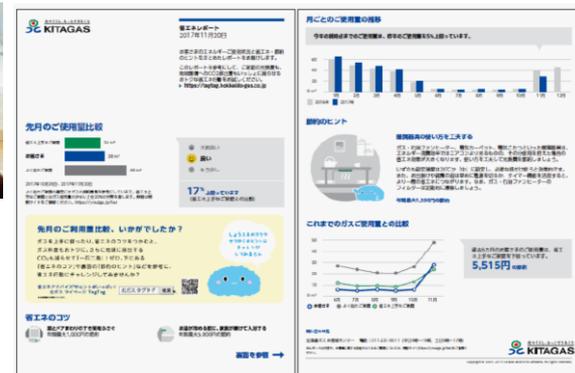
→ 診断をきっかけに、省エネルギーフォームや省エネ機器をご提案

・環境省実証事業

「低炭素型・行動変容事業(ナッジ)」の
フィールド提供事業者としての参画

(北海道ガス・東北電力・北陸電力・関西電力・沖縄電力)

省CO₂効果の継続分析。レポート送付先の拡大予定



(3)分散型エネルギー社会の構築

・札幌市中心部での再開発が進展

エネルギーは個から面での利用へ

*創世1.1.1区の運用開始(2018年10月)

*北4東6地区再開発地区にエネルギー
供給(2019年4月運用開始予定)

⇒ 当社で初めて、
エネルギーセンターを建設・運用管理

北4東6再開発地区
北ガスエネルギーセンター



・地産地消のエネルギーモデルの構築

北海道に相応しいエネルギーモデルづくり
に向けて、地方自治体様との連携を強化



上士幌町では、畜産バイオマス発電プラント3
基が2月より稼働。2018年度は、連携協定の枠
組みの中で、「地域電力会社の設立」等に
向けた具体的な支援を行っていく計画

4. 人材基盤の強化

○人材育成・組織力の向上

人材育成・組織力の向上につながる3つの取り組み
「働き方改革」「女性活躍の推進」「健康経営」
を強力に推進し、北ガスグループ全体の人材育成、組織力を向上させる

①働き方改革

- ・“作業”から、価値ある“仕事”へ → 生産性の向上
- ・多様な働き方の推進

②女性活躍の推進 ~ 多様な人材を新たな時代に向けた 北ガスグループの成長の原動力に

- ・新卒採用女性割合4割以上、技術系を中心とした職域拡大の継続
- ・キャリア開発・スキルアップのサポート
- ・多様な働き方の推進(子育て世代の早期復職支援等)

③健康経営 ~ 健康な人材は地域社会の財産

- ・「禁煙」サポートを最優先に推進
 - * 今年度は、禁煙意志のある全社員を禁煙着手へ
(2020年度には、新社屋、支店含め、全面禁煙へ)
- ・保健指導の強化(有所見者に対する指導)



5. 地域貢献

○硬式野球部の活動開始

- ・日本で多くの人に親しまれている野球を通じて地域とつながり、北海道のスポーツ振興や、地域のさらなる活性化に貢献
- ・北ガスグループの一体感を醸成



超成長 ～北の青い炎となれ

- ・4月に日本野球連盟に加盟し活動開始（部員16名、スタッフ5名 計21名）
- ・5年以内の全国大会出場をめざす

北ガスグループの
成長エンジンへ



北ガス硬式野球部HP 開設

<http://www.hokkaido-gas.co.jp/ir/company/baseball/>

<2018年度の数値目標>

■営業係数

		2017年度	2018年度	対前年	伸び率
ガス販売 (千m ³)	家庭用	190,745	198,775	+8,030	4.2%
	業務用	378,044	398,706	+20,662	5.5%
	卸	8,534	9,200	+666	7.8%
計		577,322	606,681	+29,359	5.1%
お客さま件数(件)		571,544	577,780	+6,236	1.1%

		2017年度	2018年度
電力販売	お客さま件数(件)	96,019	140,000
	販売量(千kWh)	502,538	740,000

■設備投資係数

		2017年度	2018年度	備考
設備投資 (百万円)	供給設備	6,249	6,579	需要本支管、経年管対策 等
	その他	8,615	11,551	北ガス石狩発電所、 CGS設備 等
	合計	14,864	18,130	